

講義名	ヨーロッパのことばと文化		
科目区分	グローバル		
担当教員	田村 弘行 / 海老原 由美子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 5時限		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	45014

主題と概要

ヨーロッパ圏の人々が話すことばについて、その特徴を学ぶとともに、ヨーロッパ圏を形成する社会の成り立ちや文化、人々の生活について、時に日本との関わりや日本の社会・文化への影響を、歴史的な経緯を踏まえながら総合的に学ぶことを目指す。

到達目標

- ・ヨーロッパのいくつかの国のことばの基本的な特徴がわかるようになる。
- ・ヨーロッパのいくつかの国の文化の特徴を知り、国際的な感覚を持つようになる。

提出課題

2人の教員によって講義します。各教員によって少し違いはありますが、ほぼ毎回授業の最後に小テスト・小レポートを課します。気づいたこと、学んだこと、意見・感想などを提出してもらいます。

評価の基準

上記の提出物と出席、授業中の参加・取り組みなどを平常点として考慮し、合わせて評価します。最終的に、2人の教員の成績を総合して評価します。毎回10点満点で15回、合計150点満点の点数合計を100点換算して評価を出します。

履修にあたっての注意・助言他

評価の基準に書いたように、毎日が点数化されます。欠席が多ければ単位取得はかなり難しくなるので、できる限り欠席しないように注意して下さい。毎回10点満点で15回、合計150点満点の点数合計を100点換算して評価を出します。合格は60パーセント取得ですから、例えば、欠席4回すると持ち点110点で90点を取得する必要があるわけです。気をつけて下さい。

TV番組、映画、新聞、ネットなどで、ヨーロッパに関する情報について常にアンテナをはっておいていただきたい。本学のドイツ語入門、フランス語入門なども受講することがのぞましい。またNHKの語学講座を視聴することもお勧めしたい。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

各教員がその都度プリント配布

授業計画

- 1 ヨーロッパのことばと文化概観 - 田村 -
- 2 フランス語の特徴 - 田村 -
- 3 パリの歴史と都市景観 - 田村 -
- 4 文化国家フランス - 田村 -
- 5 フランスの歌について - 田村 -
- 6 フランス料理の歴史 - 田村 -
- 7 フランス映画について - 田村 -
- 8 食のフランス語 - 田村 -
- 9 首都ベルリンから見たドイツ(町と政治) - 海老原 -
- 10 ザクセン州ドレスデンから見たドイツ(社会と歴史) - 海老原 -
- 11 バイエルン州ミュンヘンから見たドイツ(食と祭り) - 海老原 -
- 12 イタリア語について - 田村 -
- 13 イタリアの食文化について - 田村 -
- 14 イタリアの世界遺産 - 田村 -
- 15 まとめ - 田村 -

予習・復習

- ・授業で次回学習の予告をするので、そのテーマに関する情報を収集し予習しておくこと。
- ・授業後に学んだ内容に関係する書物、ネット情報などを収集し発展学習に努めること。

備考